

東京育ちの二人が始めた 新しい「おもてなしの宿」

民宿「くら乃屋」 蔵本敏宏さん・優子さん



B & B くら乃屋
松崎町光興寺 3-145-136
TEL. 60-1360
客室5部屋(8畳間、12畳間)



※B & B (ベッド・アンド・ブレイクファースト)…宿泊と朝食を提供する宿

六角牛山を見渡せる松崎町光興寺地区の高台に昨年12月、B & B形式の民宿「くら乃屋」がオープンした。経営するのは東京から移住したばかりの蔵本敏宏さん・優子さん(共に49歳)夫婦。夕食は街中で楽しめ、落ち着いた雰囲気のある部屋には浴室またはシャワー室があり、若者や外国人も気軽に利用できる新しい旅のスタイルを提供している。

「いつかは田舎でのんびり暮らしたいと考えていました。初

めて遠野を訪れたとき、豊かな自然や人の素朴な温かさに触れ、ここだ、と思った」と敏宏さん。意欲も体力も充実している今、職し、優子さんと1匹の犬、6匹の猫とともに遠野への移住を決めた。早速迎えた冬は、予想以上の積雪。雪かきに汗を流しながらも、四季の景色の変化や日没で感じる時間の流れ、人と人との身近な交流など、東京では味わうことができなかった。生活を楽しんでいる。



2010. 02
No.56

広報

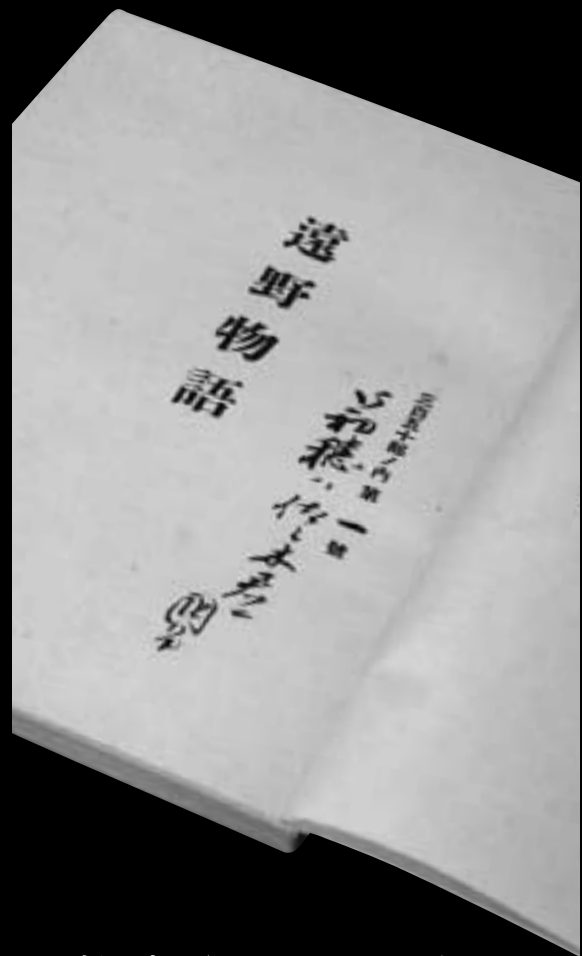
●目次

- 02 風の人
民宿「くら乃屋」 蔵本敏宏さん・優子さん
- 03 [特集]「物語」の新たな継承へ
- 12 市からのお知らせ
文化振興財団顕賞式・体育協会栄賞表彰式受賞者紹介／消防団表彰受賞者紹介／図書館リニューアルオープン
- 18 学びのいずみ
心も体もホット! スポーツの集い／プールでシェイプアップ/みそ作り講座/古布草履作り講座/おすすめしたい本 ほか
- 20 まちの話題
平成22年成人式/鱒沢小スケート教室/遠野北小木工教室/文化財防火訓練/瀧本ツキエさんが100歳到達/地域トピックス(小友町・青笹町)
- 22 ふれあい広場
わが家のアイドル/大きくなったら何になりたい?/サークルクラブ紹介/青春のトーク/ともに歩んで半世紀
- 24 おしらせ
- 26 保健福祉情報館
休日急患診療当番医/移動献血車/わらすつこだより/おめでた/おくやみ など
- 27 市民カレンダー
- 28 遠野遺産
小友町裸参り



◎表紙の写真

グランプリに輝いた太田信子さんは「以前から昔話が大好きで、家族もいることから遠野はとても思い入れが深い土地です。100周年の記念の年に思い掛かず賞を頂きとても光栄です。これからも遠野の写真を撮り続けていきたいです」と話していました。



カップ、ザシキワラシ、オシラサマ、山男。土淵町出身の佐々木喜善が語った不思議な話を民俗学者の柳田國男が書き著し、1910(明治43)年6月14日、350部の『遠野物語』は発刊されました。発刊から100年目の今年、遠野の宝を、次の世代へと語り継ぐ新たな「物語」が始まります。

写真上 / 柳田國男が佐々木喜善に贈った初版本第1号。「御初穂八佐々木君二 國男」と墨書きされている。

『物語』の 新たな継承へ

●特集 『遠野物語』 発刊100周年



佐々木喜善
(1886~1933)



柳田國男
(1875~1962)